

Update the Value Standard

早川浩士
(有) ハヤカワプランニング
代表取締役

根拠のない恐怖は無視すべき

1月24日、公益財団法人テクノエイド協会主催の「介護ロボット全国フォーラム」が開催され足を運んだ。「介護ロボット活用による実践研究の報告」に登壇したのは、昨年2月20日に「第9回日本では、昨年2月20日に」第9回日本では一番大切にしたい会社大賞・実行

もに労働環境まで大改善した。「働く人の幸福度を追求し続ける」を目標に掲げ、「未来を見据えICT等を取り入れた人づくり」から、やりがいを持って働ける職場環境づくりの実現に向けて根拠のない恐怖は無視すべきを唱え続けた理事長。定着率は劇的に改善し、面会者や視察、見

委員会特別賞」を受賞した宮崎県の社会福祉法人スマイリングパーク理事長山田一久氏だ。

2002年〜2010年頃は、25%の離職率だったという同法人。そこでとった手段が、AIやICT、介護ロボットの導入だ。「根拠のない恐怖は無視すべき。その恐怖が合理的であり、冷静に

考えて失敗する可能性が高い場合でも、それが挑戦に値することであれば、その恐怖をやり過ぎて前に進むべきです。たとえ失敗し

たとしても、挑戦する価値はあります」(※1)と、躊躇(ためら)わずに導入した際の気持ちを振り返る。当初は、コストの問題や機械操作に不慣れた職員からの反対の声、

情報漏洩等に対する不安から、抵抗などもあったというが、記録の電子化および音声入力システムの導入により、業務効率化が大幅に改善。さらに申し送り時間を見直し、システム上の記録確認で対応するなどして交代時に人員が重なる時間を短縮するとともに、人件費を削減。職員の意識改革とと

“かわることを、

おもしろがろう”

移り変わるは浮世の習い

Profile

はやかわ・ひろし ● 経営コンサルタント。「継承と人材創造塾」主宰。『介護ビジョン』編集委員。介護福祉教育マスター。著書に『データで徹底分析介護事業の最新動向と経営展望』、『99の言葉の杖』(いずれも日本医療企画)、『介護保険改正に勝つ! 経営』(年友企画)など。本誌にて『経営(継承)のツボ』を創刊から200回(16年8カ月)連載

URL www.hayakawa-planning.com

学、ボランティア、実習生等の来園者数まで激増したという。

変化はコントロールできない

この話を聞いて、元旦の日本経済新聞朝刊に掲載された集英社の全面広告「かわることを、おもしろがろう。」が、頭を過った。

中央に記された大きな筆字の

「変革」は読めるが、左側の「どんなに時代が変わっても、(中略)変革できるのは、ブレない原点があるから(後略)」の表記は逆さま。

向きを変えると「変革」は「原点」に見える仕掛けが施されていた。そうまでして伝えたいこと、とは何か。

「移れば変わる世の習い」という

ことわざもあるが、何よりも「かわることを、(恐れるな)。おもしろがろう。」ではないか。

また、「変化はコントロールできない。できるのは変化の先頭に立つことだけである」(※2)という言葉が脳裏に浮かぶなど、理事長の報告から思い出されるもの余韻に痺れてしまった。